

2010（平成22）年度

研究発信トレーニング募集要項

大学院教育改革支援プログラム「研究と実務を架橋するフィールドスクール」（通称：改革プログラム）では、ASAFASの院生を対象に英語による研究発表および英文研究計画書の作成トレーニングを実施します。この取り組みは、国際的な実務に必要な基礎能力を大学院在籍中に高めることを目指すものです。

1. 英語による研究発表

自らの研究を英語で発表するトレーニングを行います。国際学会で発表を予定している院生が予行演習をする機会にあてることも歓迎します。トレーニングでは、予備論公聴会や学会で使用したレジュメやパワーポイント、発表原稿の英訳版について発表技術のアドバイスと英文校閲の支援を行い、アジアとアフリカを専門とする外国人研究者をアドバイザーとして招待して発表会を行います。

- 応募資格：（原則として）予備論を提出した ASAFAS 在学中の学生
*休学中の学生、研修員、研究員は応募できません。
- 応募締め切り：5月14日（金） 正午まで
- 申請書提出先：kaikaku@asafas.kyoto-u.ac.jp もしくは 075-753-9655 (fax)
- 相談会：5月19日（水）ゼミ終了後（総合研究2号館447号室大会議室と稲盛・中会議室）
- 発表会・講評会：7月 2日（水）稲盛記念館大会議室（予定）

2. 英文研究計画書作成

「研究計画書(Research proposal)」を英文で作成するトレーニングを行います。研究計画書は、調査地のカウンターパート機関へ提出する、資金獲得の申請書として提出する、指導教官への研究計画説明書として使用する、などが考えられます。プログラムでは、英文研究計画書の作成に関する技術的なアドバイスと英文校閲の支援を行います。

- 応募資格：（原則として）予備論未提出の ASAFAS 在学中の学生
*休学中の学生、研修員、研究員、昨年度参加した学生は応募できません
- 応募締め切り：5月14日（金） 正午まで
- 申請書提出先：kaikaku@asafas.kyoto-u.ac.jp もしくは 075-753-9655 (fax)
- 相談会：5月19日（水）ゼミ終了後（総合研究2号館447号室大会議室と稲盛・中会議室）
- 最終版提出締切：6月 6日（日）
- 発表会・講評会：7月 2日（水）於稲盛記念館大会議室（予定）

問い合わせ先

改革プログラム フィールドワーク・インターンシップ支援室 kaikaku@asafas.kyoto-u.ac.jp

金子守恵 Tel. 075-753-9637, email: kaneko@asafas.kyoto-u.ac.jp

落合知子 Tel. 075-753-9636, email: ochiai@asafas.kyoto-u.ac.jp

小川裕子（事務担当） Tel. 075-753-9654, email: y-ogawa@asafas.kyoto-u.ac.jp